



日本サインデザイン賞受賞 「色覚の多様性に配慮した九州大学キャンパス案内図」

九州大学伊都キャンパスのキャンパス案内図が、このたび 2020 年度の SDA 賞（日本サインデザイン賞）に入選し、加えて、九州地区賞を受賞しました。SDA 賞は、日本サインデザイン協会が主催する国内唯一のサインデザインの顕彰制度で、1966 年以來 54 年間続く歴史ある賞です。

現在社会では、赤、緑、青の3つの原色に対して、3色とも識別に寄与する方（3色覚といい、いわゆる色覚正常）や、2色だけしか識別に寄与しない方がいます。3色のうちひとつの原色が識別に寄与できない2色覚、いわゆる色覚異常と呼ばれる色覚特性を持つ方々は、確率的に男性は20人に1人、女性は500人に1人いるといわれています。特に色の識別によって情報を伝達するサインは、色覚の多様性に配慮したカラーユニバーサルデザインの実施が望まれます。

今回受賞した九州大学のキャンパス案内図は、色覚の多様性に配慮したカラーユニバーサルデザインを実施したサインで、3色覚の方にも2色覚の方にも識別できるカラーデザインを実施したものです。従来のカラーバリエーションは、3色覚向けの配色をデザインした後に、2色覚が識別できる色の組み合わせに留意して配色を改善しますが、今回のキャンパス案内図は、2色覚向けの配色をデザインした後に、3色覚が馴染みやすい色に配色を考慮しています。これは、従来のカラーデザインと逆転の発想により「2色覚を基点」にカラーデザインする新しい考え方です。このデザイン手法は、芸術工学研究院の須長正治教授が実用化したもので、この研究成果をもとに完成した「色見本」ツールが、このデザイン手法の社会実装を可能にしました。【添付資料参照】

キャンパス案内図のデザインは、サインデザインの第一線で活躍するデザイナーの中牟田麻弥氏と協働により実現しました。使用できる色数が限られる2色覚カラーを基点にしたサインデザインにおいて、色数の制限を情報量のスリム化で解決する引き算のデザインにより、見やすく分かりやすいキャンパス案内図が実現しました。更に案内図の文字は、芸術工学研究院の伊原久裕教授、須長正治教授、藤紀里子助教らのチームが開発に協力したUDフォントである「K-UDフォント」で、多くの人が見やすく読みやすい書体を用いています。

本サイン実装の取組は、大学の先進的な研究シーズと高度なデザインノウハウが融合することで実現した新しいバリエーション共創デザインの取組となりました。

本作品を含め、今年度のSDA賞受賞作品は、「年鑑日本の空間デザイン 2021」（出版：六耀社）に掲載される予定です。

受賞作品名:九州大学キャンパス案内サインリニューアル計画

<主な関係者>

プロデューサー:キャンパスバリエーション検討研究会
キャンパス計画室
キャンパスライフ・健康支援センター

ディレクター:九州大学施設部
九州大学学務部

デザイナー:メッド 中牟田麻弥氏

ディレクター:芸術工学研究院 須長正治 教授
芸術工学研究院 伊原久裕 教授
キャンパス計画室 坂井猛 教授
キャンパス計画室 鶴崎直樹 准教授
工学研究院 樋口明彦氏 准教授
キャンパスライフ・健康支援センター 羽野暁 特任助教

アドバイザー:丸野俊一 理事・副学長(応募時)
安浦寛人 理事・副学長(応募時)
日本デザイン振興会 加藤公敬氏

施工者:トラスト

調査・制作スタッフ:障害者支援ピア・サポーター学生

九州大学キャンパスバリエーション検討研究会ウェブサイト[\[https://barrierfreelab.amebaownd.com/\]](https://barrierfreelab.amebaownd.com/)



【お問い合わせ】

キャンパスバリエーション検討研究会 羽野暁

電話:092-802-3436 FAX:092-802-3435

Mail: hano.satoshi.557@m.kyushu-u.ac.jp

九州大学キャンパス案内サイン リニューアル計画

2色覚を基点にした新しいカラーデザイン

多くの色覚異常の人が社会で生活している。サインは、色覚異常、正常に関わらず正確に情報を伝えるカラーデザインが望ましい。本サインは、2色覚（色覚異常）を基点にした新しいカラーユニバーサルデザイン手法を実現した。まず2色覚（色覚異常）が識別でき

る色を基点に配色し、次に3色覚（色覚正常）が馴染む配色に置き換える新しい発想である。2色覚が見分けにくい色を集約した“色見本”の実現と、2色覚の主となる1型と2型への同時対応が、このデザイン手法を可能にした。新しいカラーデザインは色覚異常の

当事者にも好評である。本サインは色覚の多様性に配慮した新しいサインデザインを提案するものである。また、本サインの書体は九州大学のハウス書体としているユニバーサルフォント「K-UD フォント」を使用した。

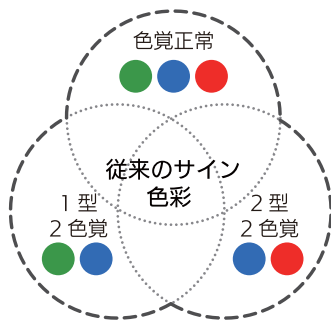
従来のカラーデザイン

3色覚カラーデザイン

2色覚カラー識別チェック

困難な補正作業

2色覚が識別できない不十分な配色



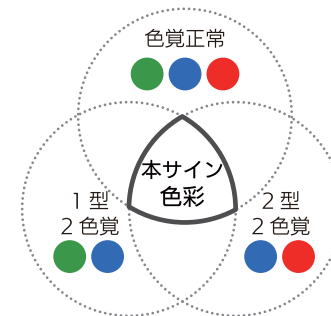
新しいカラーデザイン

2色覚カラーデザイン

3色覚カラーデザイン

新開発の色見本

2色覚も3色覚も識別できる配色





＜色覚の多様性に配慮したカラーデザイン＞
2色覚を基点にしたカラーデザインによる新しいキャンパス案内図



九州大学芸術工学研究院 須長研究室製作 色見本ツール

<色覚の多様性に配慮したカラーデザイン>
2色覚を基点にしたカラーデザイン手法を実用化する色見本ツール

色覚の多様性に配慮したカラーデザイン

お問い合わせ

九州大学キャンパスバリアフリー検討研究会

羽野暁

092-802-3436

hano.satoshi.557@m.kyushu-u.ac.jp

<https://barrierfreelab.amebaownd.com>

九州大学芸術工学研究院

須長正治

092-553-4508

sunaga@design.kyushu-u.ac.jp